

外科

当科では胃、大腸などの消化管疾患、胃癌、大腸癌等の悪性疾患や胃潰瘍、十二指腸潰瘍の穿孔、虫垂炎、大腸憩室炎等の良性疾患)、肝臓、胆嚢などの消化器疾患(胆石、総胆管結石、大腸癌肝転移等)、鼠径ヘルニア等の腹壁疾患、痔核、痔瘻、直腸脱等の肛門疾患の手術を扱っています(これらほとんどの症例が、腹腔鏡手術でおこなわれています)。痔核に対しては、可能な限りALTA療法(局所麻酔下にジオンという薬剤を痔核に注射し、痔を硬化、退縮させる治療法で、日帰りもしくは1泊入院で治療できます)をおこなっています。

土曜日午後からの手術もおこなっていますので、痔でお困りの方で、仕事が休めない方におすすめてです。また、特殊外来にも積極的に取り組んでおり、痔核、痔瘻、裂肛、直腸脱などの直腸肛門外来、巻き爪、爪囲炎などの爪外来、乳がん、甲状腺疾患に対する乳腺、甲状腺外来を行っています。

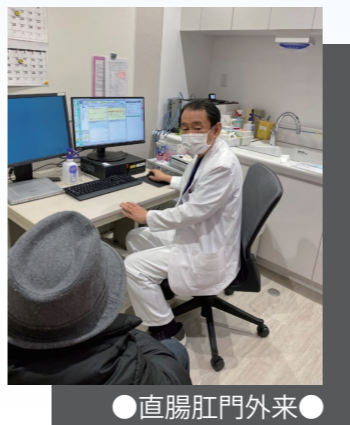
診療

一般外科・消化器外科外来:
月～土曜(午前診)、
日曜、祝日(午前診)

特殊外来:

- 直腸肛門外来
水曜(午前診)、金曜(午後診)、
第1、3、5土曜(午前診)
- 爪外来
月曜、金曜(午前診)、火曜(午後診)
- 乳腺、甲状腺外来(女性医師)
火曜(午前診)

野田 雅史(副院長)



●直腸肛門外来●

【資格・所属学会】

- ・日本外科学会 専門医、指導医
- ・日本消化器外科学会 認定医
- ・日本大腸肛門病学会 専門医、指導医、評議員
- ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

●腹腔鏡手術●



●爪外来●



回復期 リハビリテーション病棟

脳卒中や大腿骨頸部骨折等で、急性期の治療が終わっても後遺症が残って、リハビリが必要ということがよくあります。そこで、リハビリに特化した病棟として回復期リハビリテーション病棟というものが制度化されました。

急性期の治療は終わって安定期に入った患者さんに来るだけ早くリハビリを集中的に行うことを目的とするため、当初は発症後 60日以内の方に限定されていましたが、急性期の治療に60日以上かかってしまった患者さんもいるため、現在はそのような制度は無くなりません。だからといって、慢性期の方が対象ではありません。あくまでも、リハビリで回復が期待出来ることを目標としているため、対象となる疾患は決まっています。また、入院期間もそれぞれ決められています。



リハビリには、PTという歩くといった基本動作の確保を中心に行う理学療法士や、OTというトイレ動作や家事など日常生活動作の確保を中心に行う作業療法士や、STという食べる・喋る・認知面での回復などを手助けする言語聴覚士がいます。

それぞれが必要に応じて、重複したりしながら患者さんに総合的なリハビリを行っていきます。勿論、入院中の患者さんの体調管理は医師と看護師等が行っています。

このように、多くのスタッフが関わり毎月一人一人の患者さんについて担当者が集まりカンファレンスを行い今後の計画を立てています。

退院先がご自宅の場合は、退院後の介護サービスを計画したり、施設となる場合に受け入れ施設を探したりを手助けするMSWという、医療ソーシャルワーカー

がいます。また、入院中の栄養管理には管理栄養士が関わっています。



整形外科医師

平岡 誠司



- 【資格・所属学会】
- ・日本整形外科学会
 - ・日本リハビリテーション医学会

回復期リハビリテーション病棟

専従管理医師

脳神経外科医師

津澤 悟



- 【資格・所属学会】
- ・日本脳神経外科学会
 - ・日本リハビリテーション医学会
 - ・医学博士
 - ・身体障害者認定医(肢体不自由)